

第二次佐久市総合計画 前期基本計画

平成 3 0 年度進行管理第 1 部会資料

第 1 章

第1章 生涯にわたり学び生きる力を育むまちづくり

価値観やライフスタイルが多様化し、学び方や働き方の選択肢が広がった現代社会において、将来を担う子ども達が確かな夢や希望を持つことができるよう、生涯にわたり、主体的・創造的に学び、生きる力を育むまちづくりを目指します。

人口減少や核家族化により、ひとや地域の絆が希薄となりつつある現代社会において、これまで育まれて来た地域文化を将来に向かって継承していくとともに、心の豊かさを育む生活文化、芸術文化を享受することのできるまちづくりを目指します。

1 将来を担うひとづくり

施策名 「幼児教育」 ※保育所関係施策は第4章「子育て支援・児童福祉」に記載されます

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.21 → 3.25</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.32</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.13</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.04</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.21</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.32</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.13	平成26年	3.04	平成28年 (基準値)	3.21	平成30年	3.32
年度	満足度指数											
平成24年	3.13											
平成26年	3.04											
平成28年 (基準値)	3.21											
平成30年	3.32											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は平成26年に下降したが、平成28年には0.17上昇した。これは平成27年に信州型やまほいく認定制度の認定を受け自然を生かした教育・保育の充実を図ったことや、平成28年度より第3子保育料の無料化を行ったことなどによるものと考えられる。</p> <p>今後も地域の自然を生かした教育、やまほいくの推進を図るなど、幼児教育の充実に努めることにより、上昇した満足度を維持するとともに5年間で0.04の上昇を目指す。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園[※]の設置を検討する事業者に情報提供等支援を行い、平成31年4月に1園が認定こども園に移行しました(浅科幼稚園)。 ※認定こども園:「就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能」・「地域における子育て支援を行う機能」を備え、認定基準を満たし、都道府県知事から認定を受けた施設(幼稚園と保育園の両方の機能を持った施設) 私立幼稚園の運営に対して補助を実施しました。 実績:市内私立幼稚園6園 猛暑時における園児の健康を守るため、私立幼稚園の保育室への冷房設備設置事業に対する補助金制度を創設しました(令和元年度から3年間の補助)。 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度から幼児教育と保育を一体的に進める子ども・子育て支援新制度がスタートしましたが、市内の私立幼稚園では、認定こども園に移行したのは1園となっており、制度の周知、情報提供などの支援を行う必要があります。 幼児教育無償化により、ニーズの多様化、事務の増大、手続きの煩雑化が予想されることから、子ども・子育て新制度への移行、連携の強化、円滑な事務手続き手法の構築が求められています。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市内私立幼稚園の安定的な運営のため、幼児教育無償化後の事務手続きや子ども・子育て支援新制度移行に関する相談など支援をします。 市内私立幼稚園園長会との会議を開催し意見交換を行うなど、私立幼稚園と連携を図ることにより、子ども・子育て新制度への移行の支援を行うとともに、私立幼稚園の運営の支援をします。 私立幼稚園の保育室への冷房設備設置事業に対し補助を実施します。 											
<p>担当課</p>	<p>子育て支援課</p>											

施策名 「学校教育」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.16 → 3.18</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.27</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.02</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.14</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.16</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.27</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.02	平成26年	3.14	平成28年 (基準値)	3.16	平成30年	3.27
年度	満足度指数											
平成24年	3.02											
平成26年	3.14											
平成28年 (基準値)	3.16											
平成30年	3.27											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平成26年に大きく上昇し、その後も上昇している。今後は、佐久市教育振興基本計画に掲げる学校教育の「目指す姿」の具現のために必要な施策を行い、満足度の上昇を目指す。目標値は、現在の水準を維持したうえで、5年間で+0.02を見込み3.18とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・臼田地区新小学校整備に向けた基本設計業務が完了しました。 ・小中学校の教育効果向上に必要な教材備品・図書館図書の整備を行いました。 ・基礎学力向上のため、理科支援員の配置などの支援や小中学校における英語活動、英語教育の充実のためのALT(外国語指導助手)配置や小学校英語コミュニケーション事業を実施しました。また、令和2年度からの新学習指導要領全面实施に向け、新たに小学校3・4年生の英語活動にALTを配置しました。 ・教職員の「働き方改革プロジェクトチーム」における協議を踏まえ、「学校閉庁日」を導入しました。 ・障がいのある児童生徒に対する教育相談や進路相談を就学支援専門員と各学校とが連携を図りながら行うなど、特別支援教育の充実を図りました。 ・他地域におけるブロック塀倒壊による児童の死亡事故や下校中に児童が事件に巻き込まれたことを受け、警察等の関係機関と連携した通学路緊急安全点検を行いました。 ・岩村田小学校改築事業では、管理特別教室棟・屋内運動場棟工事が竣工しました。 ・小学校3校、中学校2校のトイレの洋式化を実施するとともに、猛暑時の児童の健康を守るため普通教室への空調設備の導入を検討し、設計に着手しました。 ・学校給食臼田センターの施設整備について検討を進め、基本設計が完成しました。 ・「学校給食応援団」活動や地元生産者との交流等により、地産地消及び食育を推進しました。 ・学校血液検査結果に基づき健康調査・健康相談を実施しました。 ・正しい生活習慣を身に付けるため「生活点検表」を配布し、2週間「生活点検表による自己生活の記録」を実施しました。 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりの希薄化や社会情勢の変化など教育環境が大きく変化していることから、家庭、地域、学校が連携して教育活動を進める必要があります。 ・新学習指導要領の全面实施に併せ、ICT環境の整備やALT(外国語指導助手)を活用した指導体制の充実を図るための人員整備を行う必要があります。 ・学校と教職員が担うべき業務を明確化、効率化等することにより、質の高い授業を実施し、児童生徒の学力の向上に取り組む必要があります。 ・いじめや不登校などが増加しないための対策を推進する必要があります。 ・「佐久市公共施設等総合管理計画」に基づき、「学校施設長寿命化計画」を策定する必要があります。 ・学校給食センターの計画的な整備や備品の更新を図る必要があります。 ・生活習慣病の低年齢化が問題視される中、学校現場と連携のうえ、子どものころからの健康意識の向上と疾病リスクへの注意喚起を継続して行っていく必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自立して社会を生き抜く力を育むため、「佐久市教育振興基本計画」に基づき各種施策を推進するとともに、地域と学校が連携した子どもを育てる取組の充実を図ります。 ・文部科学省の示すICT環境整備の基準を踏まえ、タブレット端末や大型提示装置等の情報機器の整備、ICT支援員の増員などを検討します。 ・基礎学力の向上のため、理科支援員など市独自の支援を行うとともに、外国語活動及び学習の充実のため、ALT(外国語指導助手)の増員などを推進します。 ・県の働き方改革推進のための基本方針を踏まえ、学校における働き方改革を推進します。 ・学校、保護者、関係機関や団体と連携し、いじめによる重大な事態を未然に防ぐため、正確な認知や対策を推進します。 ・長寿命化計画を策定し、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図るとともに、学校施設に求められる機能・性能を確保していきます。 ・令和元年度中には、新小学校の整備を控える臼田地区の小中学校以外の全ての小中学校の普通教室に空調設備を整備します(臼田地区の小中学校については冷風機等で対応します。) ・給食センターの定期検査を実施し、計画的な修繕や備品の更新を行います。 ・給食施設全体の整備においては、統廃合や調理業務の民間委託も視野に入れ検討します。 ・アレルギー対応食の提供体制の充実をめめます。 ・学校と連携し、より効果的な子どもへの保健教育を推進します。 											
<p>担当課</p>	<p>学校教育課・教育施設課・学校給食課・国保医療課</p>											

施策名 「高校教育・高等教育」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.02 → 目標値 (H33) 3.03</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.16</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.99</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.03</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.02</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.16</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.99	平成26年	3.03	平成28年 (基準値)	3.02	平成30年	3.16
年度	満足度指数											
平成24年	2.99											
平成26年	3.03											
平成28年 (基準値)	3.02											
平成30年	3.16											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、ほぼ平均値で横ばい傾向にある。今後は、佐久市奨学金制度において平成29年より償還金の一部免除を実施する等、施策の充実により満足度の維持を目指す。目標値は微増の3.03とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 大学等卒業後の佐久市内への定住を促進するため、平成29年度に佐久市奨学金貸与制度[※]を改正し、卒業後佐久市内に居住する等の条件を満たす場合、償還金の3分の1以内を免除できるようにしました。 償還金免除実績：平成29年度…13件、平成30年度…11件 ※佐久市奨学金貸与制度：高校、高専、大学等への修学の意思と能力がありながら、経済的な理由で修学が困難な人への貸与型奨学金 • 平成30年度より給付型奨学金「SAKUコスモス育英基金奨学金」[※]制度を開始し、初年度は10名に奨学金を給付しました。 ※SAKUコスモス育英基金奨学金：市への寄附金を原資とした、経済的に修学が困難な大学生を対象とした給付型奨学金 • 信州大学・佐久大学・佐久大学信州短期大学部と締結した包括的な連携協定に基づき、高等教育機関と連携した事業を推進しました。 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 社会情勢の変化も考慮し、利用者ニーズに応じた佐久市奨学金貸与制度の見直し(貸与時期の見直し、滞納者の未然防止)を進めていく必要があります。 • 連携協定を結んだ大学の持つ知識や技術、学生のアイデア等がどのような行政分野で活用できるか検討を進めていく必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 佐久市奨学金貸与制度について、奨学金の申請時期を現在の進学後(4月)から在学中に早める予約採択の導入を検討します(受験期本格化前に予約採択し、保護者・受験生の安心感を醸成できるとともに、奨学金を年度当初に貸与することができ授業料等の学費に直結することができる。) • 各種高等教育機関との連携により、より効率的な行政運営、地域産業の活性化等を図ります。 											
<p>担当課</p>	<p>学校教育課・企画課</p>											

施策名 「青少年健全育成」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.15 → 目標値 (H33) 3.20</p>	<p>H30 満足度指数</p> <p>3.13</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.04</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.06</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.13</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.04	平成26年	3.06	平成28年 (基準値)	3.15	平成30年	3.13
年度	満足度指数											
平成24年	3.04											
平成26年	3.06											
平成28年 (基準値)	3.15											
平成30年	3.13											
<p>目標設置根拠</p> <p>満足度指数は、上昇傾向にある。これは地区育成会活動への支援により青少年育成活動件数の増加や、補導委員による街頭報道活動、子どもが多様な体験ができる研修事業等を実施したことによるものと考えられる。今後は少子化が進む中で、次代を担う人材を育成することが重要となることから、地区育成会活動、補導活動、体験活動や海外研修等の事業を引き続き実施し、満足度の上昇を目指す。 目標値は、過去の上昇傾向を維持するため年+0.01を見込み3.20とする。</p>		<p>主な施策の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区育成会活動を支援するため、地区交付金及び地域体験活動補助金を交付しました。 非行の未然防止と早期発見のため、引き続き街頭補導活動及び少年相談等を実施しました。 多くの新成人の門出を祝うため成人式を実施しました。 実績:成人式対象者 1,121名のうち838名出席(出席率74.8%、昨年度比1.57%ダウン) 多くの青少年が自然体験、社会体験といった普段の生活では経験できない多彩な体験を経験することができるよう、ジュニアリーダー研修を実施しました。 中学生海外研修、子ども交流研修を実施し、エストニア共和国サク市やモンゴル国スフバートル区の子どもたちと交流することにより、青少年の国際的視野を広げるとともに、相互理解を深めました。また、応募者が減少傾向にあることから、参加者が作成した壁新聞を市内中学校や、野沢会館、市民ホールに掲示し活動内容を幅広く周知しました。 実績:エストニア参加者数 8人 モンゴル参加者数 7人 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子化のため、地区での育成会活動が困難になってきています。 街頭補導活動では、少子化や子どもたちの生活パターンの変化により、街中で指導する機会が減っています。 国の法改正により、成人が令和4年4月から18歳になるため、成人式の開催時期、また対象年齢等について改めて検討する必要があります。 より多くの新成人に、成人式に出席してもらえよう周知等に取り組む必要があります。 インターネットに関わるトラブルに子どもが巻き込まれる事件・事故が増加しているため、フィルタリング[※]利用の推奨など、安全にインターネットを使用するための啓発に取り組む必要があります。 [※]フィルタリング:インターネット上の好ましくないサイトの閲覧を制限すること。 中学生海外研修では応募者が減少傾向のため、応募者を増やすための取組を検討する必要があります。 <p>今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 少年センター育成推進協議会の総会時等で育成推進員の役割や活動内容を周知し、効果的な活動を推進します。 街頭補導活動では子どもたちに声掛けができるように巡回時間や場所を検討します。 成人式の開催方法や内容の検討、参加を促すための効果的な周知活動を行います。また、インターネットからの参加受付を引き続き行い、参加者の利便性を維持向上させます。 成人年齢の引き下げについて、成人式の対象年齢等を検討し、決定後は速やかに市民への周知を図ります。 インターネットの危険性や安全な使い方について講演会や研修会を開催し周知します。 未来を担う人づくり、青少年の健全育成は市民の願いであることから、青少年育成事業、青少年補導事業、ふるさと創生人材育成事業を引き続き実施し、その成果を発信します。 <p>担当課</p> <p>生涯学習課・公民館</p>										

2 主体的、創造的な学びと文化の熟成

施策名 「文化・芸術」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.12 → 3.17</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.13</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>2.99</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>2.93</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.12</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.13</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	2.99	平成26年	2.93	平成28年 (基準値)	3.12	平成30年	3.13
年度	満足度指数											
平成24年	2.99											
平成26年	2.93											
平成28年 (基準値)	3.12											
平成30年	3.13											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、平成28年には0.19上昇した。これは文化振興基金活用事業等の効果によるものと考えられる。 今後も文化振興基金活用事業を充実させることにより満足度の上昇を目指す。 目標値は、年+0.01を見込み3.17とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久市文化振興基金の運用益を活用し、「キッズ・サーキット in 佐久」(5, 310人来場)、ファミリーミュージカル(755人来場)など優れた舞台芸術に触れる機会を提供しました。 ・近代美術館では、収蔵美術資料による展覧会や特別企画展などの展覧会を企画開催しました。また、市民が自分で制作した美術作品を応募できる「佐久平の美術展」を開催しました。 ・例年実施している美術講座等に加え、市民を含む多くの観覧者の満足度の向上対策として、新たにトークフリーデー、市民公募展、幼児を対象とした読み聞かせ等を企画開催しました。 ・県文化財保護指導員及び市文化財保護審議会委員による文化財パトロールを実施しました。 ・後継者育成補助金の交付を行いました。 実績: 交付件数6件 ・考古遺物展示室に佐久市出身の声優白井悠介さんによる音声案内を導入しました。 ・歴史講座及び小学校への出前講座を実施しました。 実績: 歴史講座等開催回数 11回 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の老朽化の状況に応じた効率的な修繕を検討する必要があります。 ・更なる文化振興を図るため、文化、芸術活動の促進及び施設の利用を向上させる必要があります。 ・文化を取り巻く社会情勢やニーズなどを見極め文化振興事業を実施し、文化振興を推進する必要があります。 ・市民の文化・芸術活動を促進するためには、特色ある展覧会や市民の活動を支援する事業を継続して実施していく必要があります。 ・文化財は貴重な国民的財産であるとの認識を市民が共有できるよう、文化財に触れる機会を設ける必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久市文化振興基金の運用益を活用し、「キッズ・サーキット in 佐久」をはじめとする舞台芸術に係る催しを開催することで、より一層の文化振興を推進します。 ・各施設の老朽化等の現状把握に努め、長寿命化計画の策定に向けた検討を進めていきます。 ・収蔵資料を調査・研究の上、近代美術館を始めとする各施設の特徴を生かした展覧会を開催し、市民の文化・芸術活動の中心となる美術鑑賞等の機会を確保していきます。 ・全国規模の公募展である佐久全国臨書展や、市民が参加できる公募展「佐久平の美術展」を開催するとともに、市民自ら展覧会が開催できる会場を提供するなど、自主的な文化・芸術活動を継続して支援していきます。 ・市民の財産である文化財の保護のため、文化財パトロールを定期的実施するとともに、所有者等に対し現状調査を実施します。 ・市町村誌等の販売促進や、広報・ホームページ等を活用し、文化財の情報を発信します。 ・指定文化財の計画的な補修及び地域の活動や後継者育成に対する支援を行います。 ・発掘調査による成果を広く公開するため、出土品の展示や歴史講座を実施します。 ・市民の文化財、歴史に対する関心を高めるため、少年考古学教室の内容を充実させます。 											
<p>担当課</p>	<p>文化振興課・近代美術館</p>											

施策名 「生涯学習」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 3.32 → 目標値 (H33) 3.32</p>	<p>H30 満足度指数</p> <p>3.29</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p>										
<p>目標設置根拠</p>		<table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.25</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.25</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.32</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.29</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.25	平成26年	3.25	平成28年 (基準値)	3.32	平成30年	3.29
年度	満足度指数											
平成24年	3.25											
平成26年	3.25											
平成28年 (基準値)	3.32											
平成30年	3.29											
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり、高い値となっている。これは、団塊の世代の退職に伴う生涯学習への関心の高まりに対し、様々な講座等の充実を図ったことによると考えられる。 今後も市民のニーズに合った各種講座の開催や、生涯学習環境の整備に努めることにより、平成28年度の3.32という高い満足度の維持を目指す。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズを把握するため、子ども公民館の参加者に生涯学習に関するアンケート調査を実施し、生涯学習懇話会で協議するなど、各種講座の充実に向けた検討を行いました。 ・市民の生涯学習活動を促進するため、毎月、生涯学習関連情報を集約した「マナビィさく」を公共施設に掲示するなど情報提供を行いました。 ・生涯学習市民のつどいとして「まちじゅう音楽祭」を9月23日に市民交流ひろばで開催しました。 実績:参加者数 2,800人(H29年度 2,600人) ・市民ニーズの把握に努め多彩な講座、教室などを公民館施設で開催しました。 実績:公民館施設の延利用者数 144,857人(前年比13.4%増) ・浅科会館の複合化、生涯学習センター(野沢会館)、東会館の改築を検討し、市民が安心安全に公民館活動を行えるよう推進しました。 ・中央図書館本館のエアコンを修繕し、快適な読書環境の確保に努めました。 ・図書館では、子ども達の夏休み時期に合わせワクワク子ども実験室を開催し、イベントの充実を図りました。 ・10月に浅科の「穂の香ホール」で図書館講座を開催しました。 実績:参加数 293人 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが生涯にわたり学び、生きがいや、やりがいを持ち続けられるよう、市民ニーズを踏まえた学習活動機会の提供や若年層の学習活動への参加を促進する必要があります。 ・市民の生涯学習へのニーズが多様化している中で、誰もがあらゆる機会に学習できるよう、生涯学習環境の整備推進を図っていく必要があります。 ・市立図書館の「施設延命化」に向け、施設の状態に応じた計画的な整備を検討する必要があります。 ・多様化する市民ニーズに応えるため、時代に合った図書館資料提供の視点に立ち、職員の専門研修や窓口サービスの効率化について検討する必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用者を対象に生涯学習に関するアンケート調査を実施し、市民の多様なニーズに対応した学習プログラム・講座の提案に努めます。また、各種講座など生涯学習関連情報を月ごとに集約した「マナビィさく」を、市民が多く訪れる公共施設に掲示するとともに市のホームページで情報提供を行います。 ・浅科会館の複合化、生涯学習センター(野沢会館)や東会館の改築においては、利用者のニーズを踏まえ生涯学習環境の充実を図ります。 ・市民ニーズに即した講座・学習・イベントを開催するとともに、効果的なPRをすることにより参加者の増加を図ります。また、わがまち佐久・市民講座や地区館講座を開催し、住民がまちづくりや地域づくりについて考える契機を創出します。 ・計画的な図書館施設の設備整備と機能の充実を図ります。 ・移動図書館の巡回地域について、利用の状況や地元要望を参考に見直しを行います。 ・図書館に対する市民ニーズを的確に把握し、利用者の視点に立った図書資料の収集、サービスを提供します。 											
<p>担当課</p>	<p>生涯学習課・公民館・中央図書館</p>											

施策名 「スポーツ」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.17 → 3.30</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.13</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.02</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.17</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.13</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.02	平成26年	3.15	平成28年 (基準値)	3.17	平成30年	3.13
年度	満足度指数											
平成24年	3.02											
平成26年	3.15											
平成28年 (基準値)	3.17											
平成30年	3.13											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は平成26年に大きく上昇し、その後も上昇している。今後も生涯・競技スポーツの振興などに努めるとともに、東京オリンピック・パラリンピック開催による交流の推進などにより、目標値の上昇を目指す。目標値は、5年間で0.13ポイントの上昇を見込み3.30とする。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントとして、オリンピック、パラリンピアンを講師に、陸上競技体験講習や、小中学校でのパラスポーツ体験を実施することにより、一流選手と触れあう機会や一流の技術を学ぶ機会を創出しました。 ・スポーツに親しむ環境づくりを推進するため、各種スポーツ大会や教室を開催しました。 実績: 佐久市ハーフマラソン大会参加者 577名 小学生ドッジボール大会参加者 560名 等 ・「ホストタウン」交流計画に基づき、日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流イベントを開催しました。また、エストニア共和国オリンピック委員会と陸上競技についての事前合宿に係る覚書を交わしました。 ・各運動施設について指定管理者と連携を図り、効率的、効果的な運営に努めました。 ・県立武道館建設において、市が整備する多目的広場、屋外トイレ、遊歩道について実施設計を行うとともに、周辺道路整備計画を策定し、用地交渉を行いました。 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化するライフスタイルやスポーツニーズに対応したスポーツ教室を企画するとともに、併せて一流選手と触れあう機会の充実を図る必要があります。 ・より多くの方が気軽に参加でき、また、参加したくなるようなスポーツ大会、教室となるよう参加者の意見も参考にし、内容等の見直しを行っていく必要があります。 ・東京オリンピック・パラリンピックに向け「ホストタウン交流計画」に基づき、交流事業を計画的に推進して行く必要があります。 ・身近で使いやすい施設となるよう既存スポーツ施設の計画的な整備、機能強化を推進する必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者アンケートや各種団体と連携する中で市民ニーズを把握し、ニーズに合ったスポーツ大会、教室などの開催を推進します。 ・「ホストタウン」交流計画に基づきスポーツ交流や、子ども達の相互交流など推進するとともに、オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致に取り組みます。 ・中長期的な視点で施設のあり方を検証し、社会体育施設の個別施設整備計画を策定します。 ・県立武道館の令和2年3月の供用開始に向け、周辺道路の整備を行うとともに、開館後の運用面について県や関係団体と協議していきます。 											
<p>担当課</p>	<p>スポーツ課</p>											

3 尊重され支え合う社会の形成

施策名 「人権尊重社会」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.15 → 3.20</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.14</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.08</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.09</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.15</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.14</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.08	平成26年	3.09	平成28年 (基準値)	3.15	平成30年	3.14
年度	満足度指数											
平成24年	3.08											
平成26年	3.09											
平成28年 (基準値)	3.15											
平成30年	3.14											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり、人権意識の高揚への取組や人権教育の推進による効果と考える。 過去4年間で0.07上昇していることから、今後も人権同和教育・啓発活動事業などの取組を実施することにより、5年間で0.05の上昇を目指す。</p>												
<p>主な施策の進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消を目指し、小学生を対象とした「人権の花運動」(H30は3校)や、広く市民を対象とした人権同和教育講座、学習会、人権・男女共生フェスティバルを開催しました。 実績:講座等開催回数 50回 ・教職員やPTA・企業の皆さんを対象とした研修会等を開催し人権意識の醸成と意識改革を図りました。 実績:研修会開催回数 29回 ・隣保館では生活文化の向上と、人権意識の高揚、住民福祉の向上を目指し、啓発・広報活動の実施及び各種教室を開催し交流を図りました。 実績:教室開催回数 441回 ・生活・人権相談員の配置により、相談体制の充実・強化を図りました。 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、学校、地域、家庭、職場等あらゆる場での人権同和教育、人権啓発活動を継続して実施していますが、依然として様々な人権侵害が存在しています。 ・隣保館は、福祉の向上や人権のまちづくりの拠点となるため、周辺地域住民との交流推進を目的とした創意工夫をしていく必要があります。 											
<p>今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりでも多くの市民の人権感覚、人権意識が高まるよう、人権同和教育講座や各区の学習会、人権啓発活動等の事業を「繰り返し・粘り強く・根気よく」継続します。 ・社会環境の変化等による新たな人権課題や、各種研修会等からの要望事項等に取り組みます。 ・より多くの地域住民が気楽に隣保館事業に参加できるようにすることにより、世代間の交流を深め人権意識が高まるよう努めます。 											
<p>担当課</p>	<p>人権同和課</p>											

施策名 「男女共同参画社会」

施策目標の進捗状況

<p>施策目標 (市民アンケートによる満足度指数)</p> <p>現状値 (H28) 目標値 (H33)</p> <p>3.10 → 3.15</p>	<p>H30 満足度 指数</p> <p>3.07</p>	<p>市民アンケート満足度指数の推移</p> <table border="1"> <caption>市民アンケート満足度指数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度指数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>3.03</td> </tr> <tr> <td>平成28年 (基準値)</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>3.07</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度指数	平成24年	3.10	平成26年	3.03	平成28年 (基準値)	3.10	平成30年	3.07
年度	満足度指数											
平成24年	3.10											
平成26年	3.03											
平成28年 (基準値)	3.10											
平成30年	3.07											
<p>目標設置根拠</p>												
<p>満足度指数は、ほぼ横ばい傾向にある。 男女共同参画プランに基づき各種施策を展開することにより、満足度指数の上昇を目指す。 目標値は、5年間で0.05ポイントの上昇を見込み3.15とする。</p>												
<p>主な施策 の 進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域・職場における男女の性別による役割分担意識の解消のため、「佐久市男女共生ネットワーク」と連携して「市民フォーラム」を開催し、男女共同参画の意識づくりを推進しました。 実績:市民フォーラム参加者数 128人 (平成29年度116人) ・「佐久市男女共同参画推進条例」に基づき、今後の先導性が期待される取組等を行っている事業者等に対し、佐久市男女共同参画推進事業者表彰を行いました。 実績:表彰事業者数 6事業者 (東小学校男手の会、ともに生きる佐久、株式会社木下組、株式会社やなぎだ、エムケーカシヤマ株式会社、長野吉田工業株式会社) ・佐久市ホームページ及び広報を通じて女性相談窓口(女性相談員の配置)を周知しました。また、他の機関が発行・掲載している相談窓口情報も活用し周知しました。 											
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会の実現には、世代間・男女間にある、慣習や性別による固定的役割分担意識の解消が欠かせないため、効果的な意識啓発を図る必要があります。 ・子ども・子育て支援の充実、育児休業の取得促進、多様な働き方の普及などにより、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進について、関係課と連携しながら取り組む必要があります。 ・女性相談窓口に寄せられる相談内容は、DVにとどまらず、夫婦・家族関係が主体の問題、子どもが主体の問題等幅広いものとなっており、相談内容に応じた適切な対応が求められています。 											
<p>今後の 方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の意識づくりのため、世代間・男女間にある、慣習や性別による固定的役割分担意識の解消の啓発機会を増やし、男女共同参画の必要性和合わせた意識づくりの啓発を推進します。 ・佐久市男女共同参画推進事業者表彰などを通して、先進的な就業制度を周知し、市民、事業者、行政が一体となって、男女がともに働きやすい環境づくりを促進します。実際に働く現場に施策が浸透するように、行政として推進する方策について関係各課と連携しながら検討します。 ・女性相談窓口では、夫婦・家族関係が主体の問題、子どもが主体の問題等幅広い相談内容に対応できるよう関係課との連携を強化します。 ・女性相談員に対する研修会へ積極的に参加をすることにより、相談体制の強化を図るとともに、知識経験があり継続して従事できる相談員の確保を図ります。 											
<p>担当課</p>	<p>人権同和課</p>											